

# 令和5年度 飯盛地区語らん場



今年度も地域の皆さまと、令和5年11月22日(水)、飯盛ふれあい会館にて開催いたしました。

## “支える側”と“支えられる側”

双方の気持ちになって、自身が高齢になり一人暮らしや認知症になった時に備え、住み良い地域づくりについて語りました!



↑ 複数の地域で構成したグループで意見交換。

支えられる側になった時の事を地域の皆さんと意見交換できよかった!

認知症になっても人の助けを得ながら、地域で暮らしたいよね!

地域住民同士で支え合う時代。その活動の歯車を無理なく動かそう!

認知症・身体状態に合わせて、どう見守るか。緊急・災害時の備えが必要!

地域における“見守り”はやはり“情報”がカギ! そのためにも日頃からの“横のつながり”が大切! 地域性があっても、相談し合える関係づくりが大事!

↓ しっかりメモを取って、自地域に持ち帰ります!

支え合いの立場を変えて考えると、みえてくる「地域」があるという“気づき”がありました。地域高齢者の様々な状況に応じた“見守り”ができるよう、共に取り組んでいきましょう!

## 「私、認知症です。」と言える地域づくりを目指そう!

作成; 諫早市西部地区生活支援コーディネーター 北原 國義  
(諫早市西部地域包括支援センター TEL:0957-43-3330)